

だいにかいとうじしゃぶかい しゅうろうしえんせんもんぶかい はな
第二回当事者部会は、就労支援専門部会からのテーマで話しあいます。

<テーマ>

「就労する上での、職場の理解とは？」

さくねんど どうじしゃぶかい しゅうろう げんば しょうがいりかい ひつよう いけん
昨年度の当事者部会で「就労する現場での障害理解が必要」という意見があげられました。

こんねんど しゅうろうげんば しょうがい りかい けいけんたん そうそう かま そつちよく
今年度は、就労現場での障害の理解について、経験談でも想像でも構いません。率直なご
いけん き
意見をお聞かせください。

(1) 仕事をするとき(していたとき)に、職場で自分の障害のことを理解して欲しいと思
ひと だれ ばんごう まる
う人は誰ですか？(いくつでも、番号に○をつけてください)

- ① 人事担当者
- ② 直属上司
- ③ 同僚社員(直接仕事を一緒にする人)
- ④ パートやアルバイト(直接仕事を一緒にする人)
- ⑤ 全社員(直接仕事を一緒ににはしないが、同じ会社で仕事をしている
パートやアルバイトを含めたすべての人)
- ⑥ 乗客者や取引先
- ⑦ その他 → _____

(2) 仕事をするとき(していたとき)に、自分の障害のどういったことを理解して欲しいと思
いますか？

(回答例) 脚が不自由なため、長時間の立ち仕事は難しいこと。

(3) 就労を続けていく上で、配慮して欲しいと思う(思った)ことは、どういったことですか？
(実際に「助かる」と思ったことや、配慮がなく困ったことなどでも結構です。)

はいりよ おも
配慮してほしいと思う(思った)こと

はいりよ こま
配慮がなく困ったこと

じつさい たす おもったこと
実際に「助かる」と思ったこと

(4) 仕事で困ったときは、誰に相談しますか？

(5) 仕事について自由に思うことを書いてください。

しめい
氏名 _____